

- 問1 江戸時代、仏教や儒教などの外来思想の影響を受ける前の、日本本来の考えや歴史を研究した学問を何という？
- 問2 江戸時代に、街道や宿場を利用して手紙や荷物を運んだ専門の運送手段を何という？
- 問3 江戸時代に日本と朝鮮の間で定期的に行われた、外交や文化交流を目的とした使節団を何という？
- 問4 江戸時代に人形浄瑠璃の脚本を書き、庶民の間にこの芸能を広めた劇作家は誰？
- 問5 フランス革命の際、人は生まれながらにして自由で平等な権利を持つことをうたった文書を何という？
- 問6 江戸幕府の初代将軍で、日光東照宮に神として祀られている人物は誰？
- 問7 江戸幕府が、大名に対して江戸と領地を1年おきに往復させ、妻子を人質として住まわせるように義務づけた制度を何という？
- 問8 寛政の改革が行われた時期はいつ？
- 問9 江戸幕府が日本沿岸に近づく外国船を、理由を問わず砲撃して追い払うために1825年に出した法令を何という？
- 問10 江戸幕府において、征夷大將軍がその地位を保ちつつ統率した、全国の武士の集団を何という？
- 問11 江戸時代中期に老中となり、株仲間を公認して運上金や冥加金を徴収する経済政策を行った人物は誰？
- 問12 『富嶽三十六景』を描いた、江戸時代を代表する浮世絵師は誰？
- 問13 江戸時代後期の町人文化において、庶民の生活や風俗、風景などを描いた絵画芸術を何という？
- 問14 産業革命を経て工業力が飛躍的に高まり、イギリスが自称あるいは他称された呼び名を何という？
- 問15 特定の集団のみが、ある物事を他を排除して行うことを何という？
- 問16 江戸と大坂を結ぶ主要な海上輸送船として、北前船とともに活躍した船を何という？
- 問17 16世紀に、日本がスペインやヨーロッパの諸国と行った貿易を何という？
- 問18 1549年に日本にキリスト教を初めて伝え、江戸時代の禁教のきっかけとなった人物は誰？
- 問19 江戸幕府が整備した、江戸と京都などを結ぶ主要な5つの街道の総称を何という？
- 問20 徳川家康が政権を開き、後に全国支配の拠点となった場所はどこ？
- 問21 1840年、清がイギリスと戦い、その敗戦が日本の外交政策にも大きな転換を迫るきっかけとなった戦争を何といいますか？

答え合わせ・解説

問1	答え 国学	古事記や日本書紀、万葉集などの古典を丁寧に読み解き、日本独自の精神や歴史を究明しようとする学問を国学と呼びます。本居宣長がその代表的な人物として知られています。
問2	答え 飛脚	飛脚は、道中でリレー形式あるいは特定の人が走り抜ける方法で、手紙や荷物を輸送しました。幕府公認の継飛脚のほか、民間人向けの大名飛脚や町飛脚などが存在し、街道を駆け抜けて情報を各地に届けました。
問3	答え 朝鮮通信使	朝鮮通信使は、数100人規模の行列で江戸へ向かい、儒教の教えや最新の文化・学問を日本に伝えました。日本側はこれを盛大に迎え、各地で筆談や学問交流が行われました。
問4	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、人形浄瑠璃の作者として活躍しました。彼は実際の事件を題材に、義理や人情の板挟みに苦しむ庶民の姿を描き出しました。特に、浄瑠璃語りである竹本義太夫と組み、その作品は多くの大衆を感動させました。
問5	答え 人権宣言	1789年に採択されたこの宣言は、人間は自由かつ平等な権利を持って生まれ、それらの権利は国家によって保障されるべきだと主張しました。フランス革命の精神である「自由・平等・博愛」を象徴する重要な文書です。
問6	答え 徳川家康	徳川家康は江戸に幕府を開き、武家諸法度などの制度を整えて幕藩体制を確立しました。死後、遺言に従って日光に埋葬され、東照大権現という神号が贈られました。日光東照宮は、徳川家の権威を示すために豪華に造営されました。
問7	答え 参勤交代	江戸時代の幕府が大名に対して行った軍事・政治的な支配制度です。大名は一定の期間を江戸で過ごし、妻子を江戸に居住させることを義務づけられました。これには多額の費用がかかるため、各藩は経済的に疲弊し、幕府に反抗する余力がなくなりました。
問8	答え 18世紀後半	18世紀後半の1787年、老中に就任した松平定信によって「寛政の改革」が開始されました。定信は、厳しい倹約を求めるとともに、飢饉への備えとして困米を奨励しました。また、朱子学以外の学問を制限する寛政異学の禁を行い、道徳による政治の安定を目指しました。
問9	答え 異国船打払令	1825年、幕府は外国船を警戒し、漂流民の保護などの例外を除いて、見つけ次第砲撃して追い払うことを徹底させました。これは強硬な姿勢を示すことで、外国船を寄せ付けないための措置でした。
問10	答え 武家	武家は將軍を頂点とした厳格な身分制度の中で政治・軍事の担い手となり、江戸幕府の支配体制を構成しました。幕府は「武家諸法度」を定めて諸大名や旗本、御家人などの武家を厳しく統制しました。
問11	答え 田沼意次	田沼意次は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認しました。それによって幕府は「運上金」や「冥加金」という税を徴収し、財政収入を増やそうと図りました。また、銅や真鍮の輸出を奨励するなど、積極的な重商主義政策を推進しました。
問12	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、各地から富士山を眺めた景色を描いた『富嶽三十六景』で、浮世絵の中に「風景画」というジャンルを確立しました。大胆な構図と、輸入染料「ベロ藍」を使用した鮮やかな青色が特徴で、当時の人々に衝撃を与えました。
問13	答え 浮世絵	：浮世絵は、当時の流行や風俗を題材にした木版画です。美人画や役者絵から始まり、江戸時代後期には歌川広重や葛飾北斎により風景画が人気を集めました。
問14	答え 世界の工場	イギリス製の機械製品や綿製品が世界中に輸出されたため、当時のイギリスは「世界の工場」と呼ばれました。その強大な工業力は万国博覧会などで世界中に誇示され、国際経済の主導権を握ることとなりました。
問15	答え 独占	独占とは、ある商品やサービスの供給において、他者が参入することを許さず、特定の組織のみが営業できる権利を持つことを指します。株仲間などが幕府から公認を得ることで、特定の都市や市場での販売権を独占し、強力な経済基盤を築きました。
問16	答え 菱垣廻船	菱垣廻船は、その名の通り船の側面にある垣根状の装飾から名付けられました。大坂から江戸へ日用品や加工品などを定期的に運ぶ重要な輸送手段として重宝されました。後に、酒などの輸送を専門にする樽廻船も登場し、江戸への供給を支えました。
問17	答え ポルトガル	ポルトガル人は1543年に種子島へ漂着し、日本に鉄砲を伝えました。また、フランシスコ・ザビエルらによってキリスト教も日本に伝わりました。これらヨーロッパ諸国との貿易を、当時の日本人は南蛮貿易と呼びました。
問18	答え フランシスコ＝ザビエル	フランシスコ＝ザビエルはスペイン出身のイエズス会宣教師で、1549年に鹿児島に上陸しました。当時の戦国大名の中には、貿易の利益や新しい知識を得るために布教を保護する者もいました。これが日本におけるキリスト教の始まりです。
問19	答え 五街道	五街道は、江戸の日本橋を起点として東海道、中山道、日光道中、奥州道中、甲州道中の5つを指します。街道には宿場が置かれ、本陣などの宿泊施設や継飛脚の制度が整えられました。
問20	答え 江戸	家康は、かつては寒村であった江戸を大規模な土木工事によって整え、城下町として整備しました。参勤交代の制度により、全国から大名や商人が集まる巨大都市へと成長させました。
問21	答え アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに對し、イギリスは武力を行使しました。近代的な兵器を持つイギリス軍に對し、清は圧倒的に敗北し、不平等な条約を結ぶこととなりました。

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 『富嶽三十六景』を描いた、江戸時代を代表する浮世絵師は誰？ |
| 問2 | 江戸時代、幕府から営業の独占権を得た代わりに税を支払った、商人の同業者組織を何という？ |
| 問3 | 錦絵の技術を用いて、『富嶽三十六景』などの優れた風景画を描いた人物は誰？ |
| 問4 | 1637年に島原・天草一揆の首領となった人物は誰？ |
| 問5 | 葛飾北斎が『富嶽三十六景』で使用した、当時の西洋から輸入された化学染料を何という？ |
| 問6 | 江戸幕府が鎖国政策のもと、長崎に設置した貿易管理のための人工島を何という？ |
| 問7 | 江戸時代にオランダ船の来航が許された、日本で唯一の貿易港はどこ？ |
| 問8 | 18世紀末から19世紀にかけて、日本近海にたびたび現れて江戸幕府に警戒された国のうち、ロシア以外の国はどこ？ |
| 問9 | 江戸時代の農業において、都市の排泄物を肥料として再利用したものを何という？ |
| 問10 | 江戸時代中期、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうと、株仲間を積極的に奨励した老中は誰？ |
| 問11 | 江戸時代、農具の改良や肥料の普及により高まった、単位面積あたりの収穫量を指す言葉を何という？ |
| 問12 | 飢饉や米価の高騰に対し、都市の貧しい人々が米屋や商人を襲撃した行為を何という？ |
| 問13 | 江戸時代、外国や異民族との窓口とされた「四つの口」のうち、オランダや中国との貿易が行われた場所はどこ？ |
| 問14 | 江戸時代、オランダ船の窓口として、長崎の湾内に人工的に造られた扇形の島を何という？ |
| 問15 | 工場制手工業（マニファクチュア）が日本で発展した時代は主に何世紀？ |
| 問16 | 株仲間の結成を奨励し、運上や冥加を徴収することで幕府の財政再建を目指した江戸時代の老中は誰？ |
| 問17 | マニファクチュアにおいて、労働者が手作業で効率的に生産するために行われた手法を何という？ |
| 問18 | 異国船打払令により、かえって関係が悪化し、開国を求める圧力を強めたのはどこ？ |
| 問19 | 江戸時代前期に、俳諧を芸術性の高い文学へと高めた人物は誰？ |
| 問20 | 江戸幕府がキリスト教の布教を完全に排除するために、ポルトガル船の来航を禁止した年はいつ？ |
| 問21 | 18世紀後半、蒸気機関の発明により生産技術が向上し、世界で最初に始まった産業の大きな変革を何という？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、各地から富士山を眺めた景色を描いた『富嶽三十六景』で、浮世絵の中に「風景画」というジャンルを確立しました。大胆な構図と、輸入染料「ベロ藍」を使用した鮮やかな青色が特徴で、当時の人々に衝撃を与えました。
問2	答え 株仲間	株仲間は、特定の商人が商品を独占的に扱うための組合です。幕府に「冥加」や「運上」という税金を納めることを条件に、他の商人がその商品を扱うことを禁ずる権利が与えられました。これにより商人は安定した経営ができ、幕府も経済的利益を得ることができました。
問3	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、錦絵の多色刷り技術を駆使し、大胆な構図で風景を描きました。特に『富嶽三十六景』などの連作は、富士山の多様な表情を捉えた芸術作品として、当時の庶民にも広く愛されました。
問4	答え 天草四郎	1637年に肥前国島原と肥後国天草の農民やキリシタンらが起こした大規模な一揆の際、カリスマ的な指導者として擁立されたのが天草四郎です。彼はわずか16歳前後という若さでありながら、民衆の信仰を集め、幕府軍に対して激しく抵抗しました。
問5	答え ベロ藍	ベロ藍は、フェルロ（ベルリン）で開発されたことから名付けられた化学染料で、従来の天然染料では出せなかった深みのある鮮やかな青色を表現できました。葛飾北斎はこれを用いた風景画で、それまでにない色彩表現を確立しました。
問6	答え 出島	1636年に長崎の港に築かれた扇形の人工島です。もともとはポルトガル人を収容する場所でしたが、その後、オランダ商館が移され、長期間にわたり唯一の西欧との貿易窓口となりました。日本の商人が出入りできるのは限られた範囲のみであり、厳格な監視の下で貿易が行われました。
問7	答え 長崎	長崎にある人工の島「出島」には、オランダ商館が置かれました。ここを通じて、ヨーロッパの学問である「蘭学」や、最新の西洋医学、天文などの知識が日本にもたらされました。また、貿易の中心地として、多くの商人や役人が集まりました。
問8	答え イギリス	19世紀に入るとアジア方面での貿易拡大を目指し、日本近海にも盛んに姿を見えるようになりました。ロシアやアメリカなどの外国船と同様に、通商を求めて幕府に開国を迫る動きを見せました。
問9	答え 下肥	都市部で排出される排泄物は、農村において「下肥（しもごえ）」という貴重な肥料として買い取られました。これは都市と農村を結ぶ循環型経済の側面を持っていました。
問10	答え 田沼意次	田沼意次は商業に注目し、商人に特権を与える代わりに税金を徴収する「株仲間」を公認・奨励しました。また、長崎貿易を拡大するなど、貨幣経済の発展に対応した政策を展開しました。
問11	答え 農業生産性	農業生産性とは、農民が単位面積や一人当たりの労働力でどれだけの作物を生産できるかという効率の指標です。江戸時代には、千歯こきなどの農具や干鰯（ほしか）などの肥料が普及し、二毛作も一般化しました。その結果、限られた土地から多くの米や作物が収穫できるようになり、日本の人口は大きく増加しました。
問12	答え 打ちこわし	人々は価格を釣り上げた商人や米屋を不正であるとして、「打ちこわし」と呼ばれる襲撃を行いました。これは幕府や藩の統治能力に対する不満の表れであり、都市部で頻発しました。
問13	答え 長崎	「四つの口」とは長崎・対馬・薩摩・松前のことです。その中で、長崎は唯一の国際貿易港としてオランダと中国（清）との取引が許されていました。貿易は幕府が管理する厳格な体制の下で行われました。
問14	答え 出島	長崎の湾内に扇形の人工島「出島」を造成し、オランダ商館を移しました。これにより、貿易の統制と管理を幕府が一括して行う仕組みが完成しました。
問15	答え 19世紀	19世紀に入ると、各地で商人たちが原料を供給し、農家の人々を集めて製品を大量生産させる形態が定着しました。この「問屋制家内工業」から「工場制手工業（マニファクチュア）」への移行により、経済規模は飛躍的に拡大しました。
問16	答え 田沼意次	田沼は商人の組合である「株仲間」を公認し、営業税である運上や冥加を納めさせることで幕府の収入を増やそうとしました。また、長崎貿易を拡大し、銅や海産物を輸出して利益を得る政策も推進しました。
問17	答え 分業	マニファクチュア（工場制手工業）では、資本家が仕事場を作り、多くの労働者を集めました。一人の作業者が全工程を行うのではなく、作業を細かく分けて分業させることで、効率よく大量の製品を生産することが可能になりました。
問18	答え 欧米諸国	日本が異国船打払令によって外国船を撃退しようとしたことは、欧米諸国にとって敵対的な行為と受け取られました。特にイギリスやアメリカなどの国々は、これに対して強い不満を抱き、軍勢力を用いた開国要求を強める一因となりました。
問19	答え 松尾芭蕉	松尾芭蕉は旅をしながら多くの句を詠み、自然や人情の移ろいを繊細に表現しました。彼の作品は、その後の俳句文学の基礎となる大きな影響を与えました。
問20	答え 1639年	1639年、幕府は宣教師を派遣し、貿易の拠点ともなっていたポルトガル船の来航を禁止しました。これにより、日本へのキリスト教の流入経路が閉ざされることとなりました。
問21	答え イギリス	石炭を燃料とした蒸気機関の実用化が成功し、工場での大量生産が可能になったことで、社会の仕組みが根本から変わる「産業革命」がイギリスで始まりました。これにより、農業社会から工業社会へと急速に転換しました。

- 問1 江戸時代に幕府から営業の独占権を認められた商人組合のことを何という？
- 問2 19世紀の江戸時代後期に、社会不安が増大し農民が領主に対して起こした反乱や抵抗運動を何という？
- 問3 産業革命において、工場の動力源となり、大量生産を可能にした発明を何という？
- 問4 江戸時代、近畿地方などで綿花栽培が盛んになった際、肥料として用いられた魚の加工品を何という？
- 問5 江戸時代、将軍家との血縁や主従関係の深さによって分けられた大名の分類を何という？
- 問6 江戸幕府が長崎貿易で清へ輸出した、俵物と呼ばれる加工海産物の代表例を何という？
- 問7 徳川家康が開いた幕府により、約260年続いた武家政権の時代を何という？
- 問8 江戸幕府において、将軍を補佐し、幕政全般を統括した最高職の下に置かれた役職を総称して何という？
- 問9 1833年頃から数年にわたって発生し、幕府の権威が揺らぐ原因となった大飢饉のことを何という？
- 問10 工場制手工業が発展し、機械を導入することで産業革命の基盤となった生産形態を何という？
- 問11 鎖国体制下の江戸時代において、長崎に置かれた対外交流のための人工の島を何という？
- 問12 西廻り航路において、日本海沿岸から瀬戸内海へ入るための重要な拠点となった地名はどこ？
- 問13 江戸時代後期、藩の経済を立て直すために特産物の専売や産業育成を行った政治改革を何という？
- 問14 江戸時代の町人文化において、庶民に広く親しまれた、仮面や化粧をほどこした俳優が演じる日本の代表的な伝統芸能を何という？
- 問15 江戸幕府が大名を分類した際、徳川氏の一族にあたる大名を何という？
- 問16 錦絵の技術を用いて、『富嶽三十六景』などの優れた風景画を描いた人物は誰？
- 問17 江戸時代、全国の物資が集まり、商業や流通の中心地となった大坂のことを何という？
- 問18 紀元前6世紀ごろの中国で、身分の秩序や仁を重んじる教えを説き、後の東アジア思想に強い影響を与えた人物は誰？
- 問19 江戸時代、農村などで農家が副業として自分の家で行った小規模な工業生産のことを何という？
- 問20 貨幣経済が浸透した江戸時代、農村などで発達した、農業以外の生産活動を何という？
- 問21 朱印状を持って東南アジア諸国などで行われた貿易を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 株仲間	株仲間は、商人たちが組織した独占的な組合です。メンバーは「株札」を持つことで営業の権利を保証され、幕府に対して「冥加金（みょうがきん）」と呼ばれる税を支払いました。これにより経済の安定が図られました。
問2	答え 百姓一揆	農民たちは武器を手に立ち上がるだけでなく、集団で村を抜け出す「逃散」や、藩の政府へ直接訴える「強訴」などの手段をとりました。特に19世紀に入ると、都市部での打ちこわしと連動したり、大規模な武装蜂起となったりするケースが増えました。
問3	答え 蒸気機関	ジェームズ・ワットらによって改良された「蒸気機関」は、石炭を燃やして発生した蒸気之力で動力を得る仕組みです。これにより、場所を選ばずに工場を建てることが可能となり、さらに綿織物などの生産工程が機械化されたことで、飛躍的に生産効率が向上しました。
問4	答え 干鰯	干鰯（ほしか）は、イワシを乾燥させて作った肥料です。当時、農業生産性を上げるために欠かせない「金肥（購入する肥料）」として、綿花栽培が盛んだった近畿地方などで大量に消費されました。特に江戸時代中期以降、この肥料の使用が農業の収穫増に大きく貢献しました。
問5	答え 親藩・譜代・外様	徳川氏の一門である「親藩」、関ヶ原の戦い以前からの家臣である「譜代」、戦い後に従った「外様」に大別されます。特に譜代大名は幕府の要職を独占しましたが、外様大名は江戸から遠い場所に配置され、警戒の対象となりました。
問6	答え いりこ	長崎貿易において、日本は金銀に代わる輸出品として「俵物（たわらもの）」を輸出しました。これには、いりこ（なまこを干したもの）、ふかひれ、干しあわびなどが含まれ、清（中国）で高く取引されました。
問7	答え 江戸時代	この時代は、将軍を頂点に幕府が全国の大名を統制する封建社会でした。厳しい身分制度のもとで政治が行われましたが、平和な時代が長く続いたため、農村の発展や商人の台頭、町人文化の開花など経済・文化の著しい成長が見られました。
問8	答え 三奉行	「三奉行」とは、宗教や寺社を統括する寺社奉行、江戸の行政や警察を担う町奉行、財政や徴税を扱う勘定奉行の三つを指します。それぞれ重要な役割を分担し、幕府の政策を実行する中枢として機能していました。
問9	答え 天保の飢饉	天保の飢饉は、冷害と長雨による作物の不作が数年続いたことで発生しました。全国的な米不足と価格の高騰により、都市の貧民や農民は極限状態に追い込まれ、各地で大規模な一揆や、豪商の店を襲う打ちこわしが相次ぎました。
問10	答え 工場制機械工業	工場制機械工業は、蒸気機関などの機械を工場に導入し、多くの労働者が一斉に働いて製品を生産する形態です。これにより生産力は飛躍的に向上しました。
問11	答え 出島	出島は、長崎の港内に築かれた扇形の人工島です。当初はポルトガル人を収容するために建設されましたが、後にオランダ商館が移転し、江戸時代を通じてオランダとの貿易や情報交換が行われる唯一の窓口となりました。
問12	答え 下関	下関は、日本海から瀬戸内海へと航路をつなぐ際の分岐点・要衝として重要な役割を果たしました。当時の北前船などは、ここで風待ちや荷の積み替えを行いながら、大坂へと向かいました。
問13	答え 藩政改革	藩政改革は、藩の立て直しを目指した政治の刷新です。特産物を藩が買い上げて流通を支配する「専売制」や、新しい産業の育成、家臣のリストラや借金の整理などが行われました。薩摩藩や長州藩のように成功して力をつけた藩もあれば、失敗して農民一揆を招いた藩もありました。
問14	答え 歌舞伎	歌舞伎は、役者の派手な立ち回りや「見得（みえ）」と呼ばれる演技、豪華な舞台装置が特徴です。元々は女性の踊りから始まりましたが、幕府の規制によって男性のみが演じる形へと変化し、物語性の高い洗練された演劇として完成しました。
問15	答え 親藩	分類は「親藩」「譜代」「外様」の三つです。親藩は徳川家康の子たちが開いた藩（水戸・尾張・紀伊の御三家など）を指します。彼らは家格が高く、将軍に万が一のことがあった際に後継者を出す重要な役割を担っていました。
問16	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、錦絵の多色刷り技術を駆使し、大胆な構図で風景を描きました。特に『富嶽三十六景』などの連作は、富士山の多様な表情を捉えた芸術作品として、当時の庶民にも広く愛されました。
問17	答え 天下の台所	諸藩が大坂に米などを販売する拠点を置いたため、大坂は全国の経済の中心地となり「天下の台所」と呼ばれました。米の価格はここで決まり、金融や証券取引も発達しました。
問18	答え 孔子	孔子は「仁（思いやり）」や「礼（秩序）」を大切にし、家族のきずなや君臣の関係における上下の秩序を重んじました。その思想は弟子たちによって語録としてまとめられ、のちの儒教へと発展しました。
問19	答え 家内工業	家内工業は、主に農家が家族の労働力を使って、綿織物や布製品などの加工品を作る活動です。当初は自分たちの生活用でしたが、やがて問屋から原料を供給されて製品を納める「問屋制家内工業」へと発展しました。
問20	答え 手工業	この変化の中で、農業の合間に原料を加工して製品にする手工業が各地で発達しました。具体的には木綿織り、絹織物、酒造、醤油作りなどが挙げられます。農村における副業的な位置づけから始まり、次第に専門的な経営へと成長していくケースも多く見られました。
問21	答え 朱印船貿易	朱印船貿易は、幕府が発行した公文書である朱印状を持った船が行う貿易です。ルソン（フィリピン）やシャム（タイ）など、東南アジアの各地に拠点が設けられ、銀や銅を輸出し、生糸や砂糖、工芸品などを輸入しました。

- 問1 幕府が財政難を解消するために、小判の金の含有量を減らして利益を得た「元禄の貨幣改鑄」が行われた年はいつ？
- 問2 江戸幕府が大名を統制するために定めた法律を何という？
- 問3 江戸時代、株仲間などが営業の対価として幕府に上納した税金のことを何という？
- 問4 江戸時代に朝鮮から派遣された使節の来日に際し、仲立ちを行って外交を支えた藩を何という？
- 問5 『富嶽三十六景』を描いた、江戸時代を代表する浮世絵師は誰？
- 問6 江戸時代、海上交通網の整備により物資が活発に流通し、「天下の台所」と呼ばれて経済の中心地として栄えた都市を何という？
- 問7 江戸時代、日本から銅などを輸出する唯一の貿易港として利用された場所はどこ？
- 問8 1669年、松前藩による不当な交易や支配に反対して、大規模な蜂起を指導した人物は誰？
- 問9 江戸時代に、食べるためではなく、売ることを目的として栽培された綿や茶などの作物を総称して何という？
- 問10 江戸時代、全国の物資が集まり、商業や流通の中心地となった大坂のことを何という？
- 問11 1600年の関ヶ原の戦いに勝利し、1603年に江戸幕府を開いた人物は誰？
- 問12 松平定信が老中に就任する前、財政再建を目指して商業重視の政治を行った人物は誰？
- 問13 幕府が外国船への対応を改め、やがて開国へと向かうきっかけとなった、1837年に起きた事件を何という？
- 問14 仏教や儒教などの外来思想の影響を受ける前の、日本固有の精神を究明する学問を何という？
- 問15 江戸時代、農村などで農家が副業として自分の家で行った小規模な工業生産のことを何という？
- 問16 江戸幕府が、キリスト教の禁止や貿易の制限を目的に、長崎以外の出入りを厳しく制限した外交政策を何という？
- 問17 江戸時代に幕府から営業の独占権を認められた商人組合のことを何という？
- 問18 元禄文化が花開いた当時の将軍で、文治政治をすすめた人物は誰？
- 問19 18世紀後半から19世紀初めにかけて、文化の中心地として化政文化が栄えた場所はどこ？
- 問20 江戸時代に流通した、貴金属の含有量によって価値が決まる貨幣を何という？
- 問21 アイヌ民族が居住する地として知られ、明治時代に改称された現在の日本の地域を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 1695年	1695年に実施された元禄の貨幣改鋳は、小判の金の含有量を意図的に減らして発行し、その差額を幕府の収入とする政策でした。貨幣の量を一時的に増やすことで経済活動を促進しようという狙いもありました。
問2	答え 武家諸法度	「武家諸法度」は、城の改築や大名同士の婚姻を幕府の許可制にするなど、大名の行動を厳しく制限する法律です。この法度を守らない大名は改易や減封の処分を受けることがありました。これにより、幕府は全国の武士を完全に支配下に置きました。
問3	答え 運上	運上は「冥加」と並び、株仲間の商人が営業を許可される対価として定期的に納める税金です。主に鉱山経営や特定の商売を独占している者から徴収されました。これにより幕府は商人の経済活動を公認し、全国的な流通網を管理下に置こうとしました。
問4	答え 対馬藩	対馬藩は、現在の長崎県に位置する島を拠点としていました。地理的な条件を生かし、日本と朝鮮の間の外交や貿易の窓口としての役割を果たしました。幕府の意向を受けて朝鮮へ交渉を重ね、将軍の代わりごとに朝鮮通信使が来日する仕組みを維持し続けました。
問5	答え 葛飾北斎	葛飾北斎は、各地から富士山を眺めた景色を描いた『富嶽三十六景』で、浮世絵の中に「風景画」というジャンルを確立しました。大胆な構図と、輸入染料「ベロ藍」を使用した鮮やかな青色が特徴で、当時の人々に衝撃を与えました。
問6	答え 大阪	大阪は、諸藩の蔵屋敷が立ち並び、全国各地の年貢米や特産物が集まる流通拠点として機能しました。これにより「天下の台所」と称され、米の相場が決まるなど経済の中心地となりました。
問7	答え 長崎	長崎の出島にはオランダ商館が置かれ、中国（清）との貿易も行われました。銅は重要な輸出品であり、銀とともに日本が海外から金や絹などを輸入するための決済手段として重視されました。
問8	答え シャクシャイン	1669年、アイヌの指導者シャクシャインは、各地のアイヌをまとめ上げて松前藩に対する大規模な蜂起を起こしました。これは、一方的な交易条件を強制されていたことに対する抵抗でした。
問9	答え 商品作物	商品作物は、自給用ではなく販売用として、綿花、茶、粟穂（なたね）、タバコなどが栽培されました。これらの作物は特定の地域で特産品として生産され、全国で流通しました。これにより、農民は単なる年貢の生産者から、市場に関わる生産者へと変化しました。
問10	答え 天下の台所	諸藩が大坂に米などを販売する拠点を置いたため、大坂は全国の経済の中心地となり「天下の台所」と呼ばれました。米の価格はここで決まり、金融や証券取引も発達しました。
問11	答え 徳川家康	1600年の関ヶ原の戦いで勝利したことで全国支配の主導権を握り、1603年に朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸に幕府を開きました。彼が定めた武家諸法度などの法体系は、幕府の長期統治を支える柱となりました。
問12	答え 田沼意次	田沼意次は、株仲間の結成を許可して税を納めさせるなど、商業の力を利用して財政を立て直そうとしました。また、長崎貿易を拡大するなど積極的な政策を進めましたが、同時に賄賂が横行するなど政治の腐敗も問題視されました。
問13	答え モリソン号事件	アメリカの商船モリソン号が、日本の漂流民を送り届けるという名目で浦賀に来航しましたが、幕府はこれを追い返しました。この事実を知った蘭学者の渡辺崋山らが、幕府の強硬な外交姿勢を批判し、日本の防衛について議論が高まりました。
問14	答え 国学	国学は、日本の古典を研究することで、外来思想が入ってくる前の日本人の精神性や文化を明らかにしようとする学問です。本居宣長はその中心的人物であり、古典研究を通じて日本古来の思想や美意識を探索しました。
問15	答え 家内工業	家内工業は、主に農家が家族の労働力を使って、綿織物や布製品などの加工品を作る活動です。当初は自分たちの生活用でしたが、やがて問屋から原料を供給されて製品を納める「問屋制家内工業」へと発展しました。
問16	答え 鎖国	17世紀半ば、幕府は外国船の来航を長崎に限定し、日本人の海外渡航を禁止しました。これにより幕府は海外情報を独占し、貿易の利益を管理下に置きました。
問17	答え 株仲間	株仲間は、商人たちが組織した独占的な組合です。メンバーは「株札」を持つことで営業の権利を保証され、幕府に対して「冥加金（みょうがきん）」と呼ばれる税を支払いました。これにより経済の安定が図られました。
問18	答え 徳川綱吉	第5代将軍として、自らも儒学の講義を行うなど学問を深く奨励しました。また、綱吉の時代には経済も安定し、華やかで人間味豊かな文化が栄える基盤が作られました。一方で、「生類憐れみの令」でもよく知られる将軍です。
問19	答え 江戸	かつての文化の中心地であった上方から、経済力と人口を兼ね備えた江戸に文化の中心が移りました。この時期に栄えた文化を化政文化と呼び、浮世絵や俳諧、読本などの新しい町人文化が江戸の町で大いに発展しました。
問20	答え 金貨	金貨は、その中に含まれる金の純度や重量が貨幣としての価値を決定しました。代表的なものに「小判」があります。経済の拡大とともに貨幣の流通量は増え、商取引がスムーズに行われるようになりました。
問21	答え 北海道	明治維新後、政府は北方領土の守備と開発を目的として「開拓使」を設置し、1869年にこの地を「北海道」と改称しました。これにより本格的な開拓が始まり、多くの移住者が本土から渡りました。

- 問1 江戸時代中期、深刻な財政難に陥った幕府の立て直しを図るために老中として政治を行った人物は誰？
- 問2 江戸時代、新田開発の対象となり、農業生産を増やすために新たに作られた土地を何といいますか？
- 問3 江戸時代、農具の改良や肥料の普及により高まった、単位面積あたりの収穫量を指す言葉を何という？
- 問4 江戸時代初期に、海外渡航を許可するために幕府が与えた公文書を何という？
- 問5 田沼意次が年貢以外の収入を増やすために奨励した、商人による営業の独占を認める組織を何という？
- 問6 儒教の一派であり、主従関係や上下の秩序を重んじる教えで、江戸幕府が政治や道德の指針として奨励したものを何という？
- 問7 江戸幕府がキリスト教の禁止や貿易の制限を行い、長崎を中心とする外交体制を固めた政策を何という？
- 問8 徳川家康が政権を開き、後に全国支配の拠点となった場所はどこ？
- 問9 1792年にロシアの使節ラクスマンによって送り届けられた、ロシアへ漂流した日本人は誰？
- 問10 江戸幕府が、大名に対して江戸と領地を1年おきに往復させ、妻子を人質として住まわせるように義務づけた制度を何という？
- 問11 江戸時代、日本から銅などを輸出する唯一の貿易港として利用された場所はどこ？
- 問12 江戸時代に、庶民の暮らしや風景を題材にして描かれ、後に海外の印象派画家にも大きな影響を与えた絵画様式を何という？
- 問13 公事方御定書を制定した人物は誰？
- 問14 元禄文化期に活躍し、人形浄瑠璃の脚本で有名な人物は誰？
- 問15 江戸時代、幕府から知行地を与えられ、寛政の改革における借金帳消しの対象となった、将軍直属の家臣たちを何という？
- 問16 鎖国体制を維持するため、1825年に幕府が外国船を退去させるために出した命令を何という？
- 問17 江戸幕府の8代将軍で、享保の改革を行い財政再建を目指した人物は誰？
- 問18 飢饉などの際に、農村から都市への人口流出が増えると、幕府がその増加を恐れて制限した、農民による幕府や領主への直接的な抵抗運動を何という？
- 問19 江戸幕府が、外様大名を監視し重要な地域を支配するために、徳川氏の親族や古くからの家臣を配置した大名を何という？
- 問20 『東海道五十三次』などの優れた風景画を残した、江戸時代の浮世絵師は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 田沼意次	田沼意次は10代将軍徳川家治のもとで老中として権力を握りました。彼は年貢以外の財源を確保するため、商人の結びつきである株仲間に営業を許可し、運上金や冥加金を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して金銀の流出を抑え、輸出を促進するなど、積極的な商業重視政策を行いました。
問2	答え 耕作地	未開の荒地を開拓したり、干拓によって海や湖を埋め立てたりして農地を拡大しました。これにより多くの耕作地が確保され、年貢の対象となる土地が増えました。
問3	答え 農業生産性	農業生産性とは、農民が単位面積や一人当たりの労働力でどれだけの作物を生産できるかという効率の指標です。江戸時代には、千歯こきなどの農具や干鰯（ほしか）などの肥料が普及し、二毛作も一般化しました。その結果、限られた土地から多くの米や作物が収穫できるようになり、日本の人口は大きく増加しました。
問4	答え 朱印状	江戸幕府は特定の商人に「朱印状」を発行し、その船（朱印船）に東南アジア方面との交易を独占的に認めました。これにより、多くの商人が東南アジアの各地に日本町を形成しました。
問5	答え 株仲間	株仲間は、幕府から営業の独占権を認められる代わりに、営業税である運上金や冥加金を幕府に納める組織です。田沼意次はこれを公認し、流通を管理させることで幕府の収益を増やそうとしました。都市の商業活動を組織化し、経済的な活力を引き出す仕組みでした。
問6	答え 朱子学	朱子学は、君臣や親子の間にある厳しい上下関係を自然の理法とみなし、社会秩序を正すことを重視しました。幕府はこの思想を高く評価し、武士の教養や政治の基本理念として奨励しました。
問7	答え 鎖国政策	鎖国政策は、日本人の海外渡航の禁止、外国人の入国制限、貿易の管理を行うことで、幕府が対外関係を独占する体制です。長崎の出島を窓口としてオランダや中国などとの交流は続きましたが、それ以外は厳格に制限されました。
問8	答え 江戸	家康は、かつては寒村であった江戸を大規模な土木工事によって整え、城下町として整備しました。参勤交代の制度により、全国から大名や商人が集まる巨大都市へと成長させました。
問9	答え 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は伊勢の船乗りで、漂流の末にロシアへたどり着きました。ロシアで皇帝エカチェリーナ2世に謁見し、苦勞の末に帰国の許可を得て、使節ラクスマンに同行する形で1792年に根室へ帰還しました。その貴重な経験は、ロシアの状況を知る資料となりました。
問10	答え 参勤交代	江戸時代の幕府が大名に対して行った軍事・政治的な支配制度です。大名は一定の期間を江戸で過ごし、妻子を江戸に居住させることを義務づけられました。これには多額の費用がかかるため、各藩は経済的に疲弊し、幕府に反抗する余力がなくなりました。
問11	答え 長崎	長崎の出島にはオランダ商館が置かれ、中国（清）との貿易も行われました。銅は重要な輸出品であり、銀とともに日本が海外から金や絹などを輸入するための決済手段として重視されました。
問12	答え 浮世絵	浮世絵には、人気歌舞伎役者や有名な美人画、そして各地の風景画など、多彩な題材が描かれました。特に葛飾北斎や歌川広重の風景画は、優れた構図と色彩で知られています。これらの作品は、幕末から明治にかけて欧米に渡り、ゴッホなどの印象派の画家に大きな衝撃を与えました。
問13	答え 8代将軍	吉宗は、政治の安定のためには公平な裁判制度が必要だと考え、1742年に裁判の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、それまで曖昧だった処罰の基準が明文化されました。
問14	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、人形浄瑠璃の脚本を数多く執筆し、特に社会のルールと個人的な感情の狭間で苦しむ男女を描いた「心中物」で絶大な人気を誇りました。彼の書いた台本は人形浄瑠璃だけでなく、歌舞伎でも取り上げられ、日本演劇の黄金時代を築きました。
問15	答え 旗本	旗本は、将軍の直臣として江戸城に勤務し、行政や軍事の役職に就いていました。彼らの経済状況が極端に悪化したため、幕府は「棄捐令」を出し、商人からの借金を一部帳消しにする特例措置を行いました。
問16	答え 異国船打払令	幕府は防衛を強化し、近づいてくる外国船を無条件で攻撃して追い払う「異国船打払令（無二念打払令）」を1825年に発令しました。しかし、この強硬な姿勢はのちに海外から強い反発を招くことになります。
問17	答え 徳川吉宗	8代将軍となった吉宗は、質素倹約を奨励し、年貢の徴収方法を工夫するなど「享保の改革」を主導しました。また、民衆の意見を直接聞くために「目安箱」を設置したり、江戸の町で火消制度を整えたりと、多くの施策を実施しました。
問18	答え 百姓一揆	「百姓一揆」とは、村の農民たちが協力して領主に対し、年貢の軽減や悪政の撤回を強く要求する運動です。当初は代表者が直訴する形が多かったのですが、次第に数千人単位の集団で暴動を起こすこともありました。
問19	答え 譜代大名	「譜代大名」とは、関ヶ原の戦い以前から徳川氏に仕えていた家臣たちのことで、主に江戸の近くや重要な交通の要所に配置されました。彼らは老中などの幕府の重要な役職に就き、幕政を動かす中枢の役割を担いました。
問20	答え 葛飾北斎	葛飾北斎が『富嶽三十六景』で富士山を題材にしたのに対し、歌川広重は『東海道五十三次』で、宿場町と旅人の情緒的な風景を繊細に描き出しました。彼らの作品は、ただの記録ではなく、芸術的な視点から風景を捉えたものとして評価されています。